

大学基礎セミナー

(第1学年テュートリアル)

M1-80003S1

1 ユニットの概要

本ユニットは課題シートに基づき問題解決を図る課題学習を中心とし、それに必要な調査・ハンドアウト作成・討論の基礎を準備する導入学習、課題学習の成果を論理的に再構成し、グループで発表するプレゼンテーション学習の3つから全体が構成される。これらを段階的に履修することにより、医学生として科学的思考ができるための基礎的な態度、技能、知識を総合的に身に付ける。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術（診療の実践）
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 問題点、疑問点を見つけだすことができる。(②、⑥)
- 適切な資料によって調査することができる。(②、③)
- 自分の言葉でまとめ、わかりやすく論理的に説明できる。(④、⑥)
- 他者の話を聞き、理解・判断することができる。(④)
- 討論に参加する、進行役を務めるなど、グループ学習に貢献できる。(④)
- 問題点の解決・討論を通じて社会人としての基本的倫理を自覚できる。(①)

4 方 略

全体講義、PBL テュートリアル、グループ学習、発表と全体討議

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	レポート	知識・態度	
	出席状況	態度	
	授業態度	知識・態度	
	小テスト		
	口頭試問		
総括的評価	ユニット試験		
	授業態度	知識・態度	60%
	実習成績	技能・態度	40%
合 計			100%
・ユニットの単位認定は、授業態度の評価と実習成績に、レポート評価を加味して行う。 ・授業態度の評価は、定められた基準に基づき、自己学習のレベル、グループ学習での積極性を総合的に判断して行う。なお授業の性質上、欠席・遅刻は評価に大きく関わる。 ・実習成績は、グループ作業での積極性、グループの成果を総合的に評価する。 ・授業態度、実習成績のいずれにおいても、主体的な授業参加度を重視する。			

導入学習の評価基準

	A	B	C	D	E
学習態度	質問や発言があり、疑問点を解決しながら取り組んでいる	メモなどを取り、自分の考えをまとめながら取り組んでいる	問題なく取り組んでいる	授業に集中していない	授業と関係ないことをしている・参加していない
学習項目抽出	優先度の高い問題点を挙げ、学習項目の設定をリードできる	出された意見・疑問の関係を整理することができる(メカニズム、Why等)	言葉の意味や事実・事例をよく理解するための疑問を出すことができる	何らかの問題提起ができる	問題抽出のための発言がない

課題学習（討論）の評価基準

	A	B	C	D	E
ハンドアウト説明	論理的に説明でき、棒読みでなく、補足説明や質問に対する回答もできる	論理的に説明でき、棒読みでない	論理的な説明ができ、省略がない	説明はできるが、論理的でない・省略がある	説明がほとんどない
学習項目抽出	優先度の高い問題点を挙げ、学習項目の設定をリードできる	出された意見・疑問の関係を整理することができる(メカニズム、Why等)	言葉の意味や事実・事例をよく理解するための疑問を出すことができる	何らかの問題提起ができる	問題抽出のための発言がない
質問・コメント	総合的に質問・コメントが活発にできる	討論を誘発する質問・コメントができる	説明の論理展開に関連した質問・コメントができる	質問・コメント(語義・感想など)ができる	質問・コメントがない
グループ貢献※	他者の発言を促すほか、議論をまとめることができる	自らが発言するだけでなく、他者に発言を促すことができる	他者の発言について関連のある発言・応答ができる	議論を後退・抑制させる消極的な発言がある	授業全体を通して発言がほとんどない

課題学習（ハンドアウト作成）の評価基準

	A	B	C
信憑性	学術論文を読んだ	新聞等を読んだ	ブログ等
資料数	2点以上読んだ	1点読んだ	読んでいない
分量	A4用紙2枚以上	A4用紙2枚未満	A4用紙1枚未満
要約	論理的で読みやすい	努力している	要約できていない
参考文献表	書式が正しい	文献表がある	文献表なし

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

- ・ 配布された資料や掲示により、日程・手順等を理解しておく。
- ・ 適切な資料を収集できるよう、時間に余裕を持って調査に取り組む。
- ・ 説明・発表のために必要な資料（ハンドアウト、パワーポイント・スライド等）を確実に作成しておく。
- ・ わかりやすい説明ができるよう、十分に予行練習をする。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習 4 5 分、復習 4 5 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・ 各授業時に行われる口頭発表、作成されたハンドアウト、グループ発表について、教員が適宜コメントを加える。

9 教 育 担 当 者

ユニット責任者：井上 具規^(*) 数学

教 授	東海林 博樹 ^(*)	生物学	本田 康二郎 ^(*)	医療人文学
	公地 宗弘 ^(*)	ドイツ語	岩脇 隆夫	総合医学研究所
	飯田 安保 ^(*)	数学		
准教授	橋本 光正 ^(*)	物理学	菊地 建至 ^(*)	医療人文学
	津田 龍佑 ^(*)	体育学	山内 晶世 ^(*)	化学
	酒井 大輔 ^(*)	生物学	佐々木 美保 ^(*)	医療コミュニケーション学
講 師	佐合 紀親 ^(*)	物理学	井上 具規 ^(*)	数学
	松永 祐輔 ^(*)	医療コミュニケーション学		
	吉崎 尚良	小児外科学	堀江 哲寛	総合医学研究所
助 教	小間 陸嗣 ^(*)	体育学		

^(*)：一般教育機構

10 参 考 図 書 ・ 文 献

推奨参考図書

- ・山形大学基盤教育院 編：スタートアップセミナー 学修マニュアル なせば成る！
三訂版、山形大学出版会 2017 年
- ・野矢茂樹：増補版 大人のための国語ゼミ、筑摩書房 2018 年

第1学年

大学基礎セミナー

[illegible]